

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	水防活動事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	水防費	会計	一般会計	事業コード	550102	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040101	施策名	災害に対する危機対応力を強化する								
	開始年度	昭和28(1953)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法、水防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	水防計画に基づいて水害の発生防止に取り組むとともに、水害時の迅速・的確な活動体制を強化し、市民の生命および財産を水害から守る。				
	対象者	水防団員(消防団員)、消防職員	対象者数	1,901	単位あたりコスト	4.0
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	水防活動に出動した団員に対して、条例に基づく報酬を支出する。 水防活動用資機材を整備する。				
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費(見込値)		
	旅費	消防団員への出動費用弁償の支出	2,418			
			0			
	関連事業					

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	2,593	2,609	2,491	2,491	
	②補正予算			0		
	③流充用額	0	0	0		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	2,593	2,609	2,491	2,491	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.18/0	0.07 / 0	0.63 / 0	0.63 / 0		
⑤概算人件費	1,440	560	5,040	5,040		
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)	4,033	3,169	7,531	7,531		
⑦執行額	2,419	2,567	2,418	0		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)	93.3%	98.4%	97.1%	0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		水防資機材の整備率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
		水防活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		水防工法訓練回数	事業	2 / 2	3 / 2	2 / 2	/ 2	年間2回
		単位あたりコスト		1209.5	855.7	1209.0		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の生命・財産を守るため、水防資機材の更新整備を行い、水防資機材の整備率を高めることは重要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	点検などにより水防資機材の更新整備の必要性を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な整備を行うことで、水防活動の強化に万全を期す。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	計画的な資機材更新により、水防資機材の整備率を高めることで、水防活動の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	水防資機材の整備率や水防活動時の支障発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。 水防資機材の更新整備を計画的に実施するとともに、水防団員の訓練により水防工法の習熟度を向上させる。	
	今後の課題及び方向性	市民の生命・財産を守るため、水防資機材の更新整備を行い、水防資機材の整備率を高めることは重要である。 消防防災センターを活用して市民対象の防災教育に取り組み、水害に対する危機意識や対応能力を向上させる。		

		所見
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	消防水利整備事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550216	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和23(1948)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防水利を適正に配置して消防水利の充実を図り、火災発生時の迅速な消火体制を確立することで、火災による被害の軽減を図る。また、無蓋防火水槽周辺の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。										
	対象者	福知山市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.5						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	耐震性防火水槽および消火栓を新設する。 老朽化した防火水槽および消火栓を修繕する。 無蓋防火水槽の安全確保を図るため、転落防止用のフェンスを改修する。										
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)				
	需用費	防火水槽標識購入、消火栓修繕11基(和久市地内ほか)					307					
	工事請負費	耐震性防火水槽2基新設(荒木、三和町芦洲地内)					23,271					
		無蓋防火水槽の転落防止用フェンス15か所改修(大江町常津地内ほか)										
	負担金補助及び交付金	消火栓新設1基(中地内)					1,435					
	関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額							
	配当予算	①当初	28,820	26,670	28,640	31,110							
		②補正予算			0								
		③流充用額	8,334	0	0								
		④繰越額計	0	0	0	0							
		前年度繰越		0	0	0							
		次年度繰越		0	0	0							
	財源内訳(①④内訳)	一般財源	14,961	8,870	7,740	12,310							
		国支出金	2,693	0	0	0							
		府支出金	0	0	0	0							
		地方債	19,500	17,800	20,900	18,800							
		その他特財	0	0	0	0							
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁					
		特財名称	種類			実績金額	決算付属資料	頁					
	人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.59/0	0.44 / 0	1.24 / 0	1.24 / 0							
⑤概算人件費		4,720	3,520	9,920	9,920								
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		41,874	30,190	38,560	41,030								
⑦執行額		37,124	24,271	25,013	0								
執行率 (7/(①+②+③+④)×100)		99.9%	91.0%	87.3%	0.0%								

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消火活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
		消防水利の充足率	%	83 / 100	83 / 100	83 / 100	/ 100	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防水利整備数	基	19 / 20	18 / 20	29 / 20	/ 20	年間20基
		単位あたりコスト		1953.9	1348.4	862.5		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	火災による被害の軽減を図るため、消防水利の充足率を高めることは重要である。 福知山市開発行為に関する指導要綱により、開発者が一部消防水利を設置している。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	点検などにより消防水利の不良を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な改修を行うことで、地域の消火体制に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	防火水槽の整備および安全対策による迅速な消火体制の確立を目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		消火活動時の支障発生件数および防火水槽周辺での事故発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。 消防水利の適正な維持管理を行い、消防水利の長寿命化を推進するとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する。	
今後の課題及び方向性		火災による被害の軽減を図るため、防火水槽などの整備を行い、消防水利の充足率を高めることは重要である。 消防水利の適正な維持管理を行うことで、消防水利の長寿命化を図るとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する必要がある。 国庫補助金などの財源確保を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	消防庁舎改修事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550248	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和56(1981)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持を図り、市民の安心安全を確保する。										
	対象者	福知山市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.2						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()										
	委託先・実施主体等											
	事業概要	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持のため、老朽化した庁舎や施設を改修する。										
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費(見込値)		
		工事請負費	東分署汚水ポンプ改修、東分署倉庫屋根改修							6,951		
		北分署庁舎外壁改修、北分署屋外フェンス一部取替										
関連事業												

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額					
	①当初	7,200	7,900	7,894	6,350						
	②補正予算			0							
	③流充用額	△ 6,479	△ 4,900	0							
	④繰越額計	0	0	0	0						
	前年度繰越		0	0	0						
	次年度繰越		0	0	0						
	財源内訳	721	3,000	7,894	0						
	一般財源										
	国支出金	0	0	0	0						
	府支出金	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	0						
	その他特財	0	0	0	6,350						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁				
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁				
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.22 / 0	0.64 / 0	0.92 / 0	0.92 / 0						
⑤概算人件費		1,760	5,120	7,360	7,360						
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		2,481	8,120	15,254	13,710						
⑦執行額		721	2,943	6,951	0						
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		100.0%	98.1%	88.1%	0.0%						

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防庁舎の修繕必要箇所数	箇所	8 / 9	5 / 8	1 / 5	/ 6	0箇所
		消防庁舎の支障発生日数	日	0 / 365	1 / 365	0 / 365	/ 365	0日
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防庁舎改修工事数(年間)	事業	1 / 2	3 / 2	4 / 2	/ 2	2件
		単位あたりコスト		721.0	981.0	1737.8		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	防災拠点施設である消防庁舎の機能維持は、必要不可欠である。 点検などにより消防庁舎の不良を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な改修を行うことで、消防庁舎の機能維持に万全を期す。 消防庁舎の機能維持を図ることで、災害発生時の消防機能を守り、市民の安心安全を確保することを目的として成果目標を定めている。 消防庁舎の修繕必要箇所数が、当初目標を達成できたことは評価できる。 点検などにより消防庁舎の不良を把握し、効率的・計画的な改修を実施するとともに、消防庁舎の適正な維持管理を行う。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価			
	今後の課題及び方向性			災害発生時の市民の安心安全を確保するため、防災拠点施設である消防庁舎の機能維持は必要不可欠である。 消防庁舎の適正な維持管理を行うことで、消防庁舎の長寿命化を図るとともに、国庫補助金などの財源確保を図る。

		所見
庁内及び外部による評価 (二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】)		

		所見
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】)		

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	消防団施設整備事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550249	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和24(1949)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント実施計画											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防団員の活動拠点となる消防団車庫・詰所などを整備することにより、消防防災体制に万全を期すとともに、災害現場活動に取り組む消防団員の処遇改善を図る。						
	対象者	消防団員	対象者数	1,772	単位あたりコスト	69.7		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	消防団車庫・詰所を整備する。 ホース乾燥柱を整備する。						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		旅費・役務費・委託料	木材検査・大正分団、中夜久野分団の建築確認申請手数料、設計委託ほか				3,250	
		工事請負費	大正分団、中夜久野分団の車庫・詰所の新築ほか				70,768	
		工事請負費(繰越明許)	中六分団、下川分団の車庫・詰所の新築ほか				40,188	
		負担金補助及び交付金	中夜久野分団の水道負担金ほか				86	
負担金補助及び交付金(繰越明許)	中六分団、下川分団の水道負担金ほか				259			
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	60,252	79,998	91,800	52,571	
	②補正予算					
	③流充用額	7,998	△ 10,534	△ 16,000		
	④繰越額計	27,685	△ 24,672	40,447	0	
	前年度繰越		0	40,447	0	
	次年度繰越		△ 40,447	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	18,335	400	647	171	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	92		0	
	地方債	77,600	44,300	115,600	52,400	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁	
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.25 / 0	0.48 / 0	0.9 / 0	0.9 / 0	
⑤概算人件費		2,000	3,840	7,200	7,200	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		97,935	48,632	123,447	59,771	
⑦執行額		85,368	44,563	114,551	0	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		89.0%	99.5%	98.5%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防団員の定員充足率	%	86 / 93	86 / 93	82 / 93	/ 93	93%
		消防団活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防車庫・詰所の整備数	施設	2 / 2	2 / 2	4 / 2	/ 2	年間2施設
		単位あたりコスト		42684.0	22281.5	28637.8		
				/	/	/	/	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防団施設の再編・統合の必要性を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な整備を行うことで、地域防災力の強化に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率を高めることで、地域防災力の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>消防団員の定員充足率が、当初目標を達成できていないことは、社会的背景が起因しているとはいえ評価できない。消防団の再編・統合を計画的に推進するため、消防団活性化計画や福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、平成29年度に消防団施設の集中整備計画(10年間)を作成した。</p> <p>消防団員の定員充足率を高めるため、消防団員の活動環境の整備と処遇改善につながる施策の調査研究を実施する。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>地域防災力の強化を図るためには、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。</p> <p>集中整備計画に基づき効率的な施設整備を行うとともに、コスト削減に向けて建築工法などの調査研究を実施する必要がある。</p> <p>国庫補助金などの財源確保を図る。</p>	

庁内及び外部による評価(二次評価)	所見	
	二次評価(庁内評価)【行革担当課記入】	

三次評価(外部評価)	所見	
	三次評価(外部評価)【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	水防センター整備事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550255	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成29(2017)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法、水防法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	国土交通省が戸田地区に整備を進めている「戸田地区河川防災ステーション」内に、水防活動の核となる水防センターを建築し、市民の安心安全を確保する。									
	対象者	福知山市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.0					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()									
	委託先・実施主体等										
	事業概要	水防センターを整備する。(国土交通省のスケジュール変更により2年順延)									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容					H30経費(見込値)			
関連事業											

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額						
	①当初	0	12,600	9,100	7,800							
	②補正予算			△9,100								
	③流充用額	0	△12,600	0								
	④繰越額計	0	0	0	0	0						
	前年度繰越		0	0	0	0						
	次年度繰越		0	0	0	0						
	財源内訳(①③④内訳)											
	一般財源	0	0	0	0	0						
	国支出金	0	0	0	0	0						
	府支出金	0	0	0	0	0						
	地方債	0	0	0	7,800							
	その他特財	0	0	0	0	0						
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁					
		特財名称	種類		実績金額	決算付属資料	頁					
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0/0	0.01 / 0	0.04 / 0	0.04 / 0							
⑤概算人件費		0	80	320	320							
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		0	80	320	8,120							
⑦執行額		0	0	0	0							
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)					0.0%							

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		水防センターの設計業務	件	/	0 / 1	0 / 1	/ 1	1件
			0	/	/	/	/	0
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事スケジュール調整に伴う国土交通省との協議	回	/	3 / 3	2/3	/ 3	年間3回
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
		回	/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点を整備し、水防活動の強化を図ることは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	水防活動拠点の整備とあわせて水防工法訓練を実施することで、水防活動の強化に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	水防活動拠点の整備と水防工法訓練の継続的な実施により、水防活動の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		水防センターの整備について当初目標を達成できなかったことは、国土交通省のスケジュール変更によるものであっても評価できない。水防活動拠点の整備を実施するとともに、水防団員の継続的な訓練の実施により水防工法の習熟度を向上させる。	
今後の課題及び方向性		市民の生命・財産を守るため、水防活動拠点を整備し、水防活動の強化を図ることは重要である。水防センターを活用して水防団員の継続的な訓練に取り組み、水防工法の習熟度を向上させる。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	消防車両更新事業											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550267	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	昭和24(1949)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	各種災害などに的確・迅速に対処するため、老朽化した消防車両などの更新を計画的に実施し、市民の生命および財産を災害から守る。				
	対象者	福知山市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	2.9
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	消防本部の消防車両を更新整備する。 消防団の消防車両を多機能型小型動力ポンプ付積載車などに更新整備する。				
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)
		旅費	車両中間検査			20
役務費		登録費用ほか			883	
備品購入費		救助工作車、救急車、消防団積載車10台(小型動力ポンプ付積載車8台・下六分団ほか) (多機能型小型動力ポンプ付積載車2台・金谷、河東分団)			218,347	
公課費		自動車重量税ほか			378	
関連事業						

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	72,353	16,823	224,661	154,530	
	②補正予算			△5,000		
	③流充用額		3,802	0		
	④繰越額計	△8,650	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	41	5,075	2,761	1,230	
	国支出金	10,712	0	0	0	
	府支出金	4,250	4,150	5,700	8,500	
	地方債	48,700	11,400	211,200	144,800	
	その他特財	0	0	0	0	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.64 / 0	0.56 / 0	0.81 / 0	0.81 / 0	
⑤概算人件費		5,120	4,480	6,480	6,480	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		68,823	25,105	226,141	161,010	
⑦執行額		63,641	19,703	219,628		
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		99.9%	95.5%	99.9%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		20年未満の車両割合	%	60 / 100	61 / 100	68 / 100	/ 100	100%
		緊急出動時の支障解消率	%	100 / 100	99 / 100	100 / 100	/ 100	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		車両の更新整備数	台	3 / 4	3 / 4	12 / 4	/ 4	年間4台
		単位あたりコスト		21213.7	6567.7	18302.3		
				/	/	/	/	0
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	市民の生命・財産を守るため、消防活動の機動力となる消防車両の更新整備を行い、初年度登録から20年未満の車両割合を高めることは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	点検などにより消防車両の更新整備の必要性を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な整備を行うことで、消防力の強化に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	計画的な車両更新により、初年度登録から20年未満の車両割合を高めることで、災害出動時の車両の故障を抑制し、消防力の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		初年度登録から20年未満の車両割合を高めることは喫緊の課題であり、目標を達成するため、平成29年度に消防団車両の配置計画および消防団車両の集中整備計画(5年間)を作成した。 車両の更新整備を計画的に実施するとともに、車両に関する知識の習得に努め災害出動時の車両の故障を抑制する。	
今後の課題及び方向性		市民の生命・財産を守るため、消防活動の機動力となる消防車両の更新整備を行い、初年度登録から20年未満の車両割合を高めることは重要である。 集中整備計画に基づき、効率的な車両更新を行うとともに、国庫補助金などの財源確保を図る。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	

所見	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	公共施設除却事業(消防施設)											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550282	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成27(2015)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	福知山市公共施設マネジメント実施計画											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	用途廃止した消防施設を、施設総量の削減を図るため解体(除却)する。						
	対象者	消防団員	対象者数	1,772	単位あたりコスト	12.3		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	消防団車庫・詰所を解体(除却)する。 ホース乾燥柱、警鐘台を解体(除却)する。						
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
	委託料	大正分団、中夜久野分団新築工事に伴う設計業務(解体分)				1,835		
	工事請負費	大正分団、中夜久野分団の消防団車庫・詰所の解体				14,085		
	工事請負費(繰越明許)	中六分団、下川分団の消防団車庫・詰所の解体				4,265		
	関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	10,300	17,000	12,500	10,707	
	②補正予算			0		
	③流充用額		△ 4,084	0		
	④繰越額計	△ 6,890	625	6,265	0	
	前年度繰越		0	6,265	0	
	次年度繰越		△6,265	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	1,041	2,000	0	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	1,200	11,200	15,000	7,500	
	その他特財	2,210	1,300	1,765	3,207	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.07/0	0.32 / 0	0.38 / 0	0.38 / 0	
⑤概算人件費		560	2,560	3,040	3,040	
⑥総事業費 (3+2+3+4+5)		3,970	16,101	21,805	13,747	
⑦執行額		2,466	10,752	20,185	0	
執行率 (7/(1+2+3+4)×100)		72.3%	79.4%	107.6%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防団員の定員充足率	%	86 / 93	86 / 93	82 / 93	/ 93	93%
		消防団施設の削減率(27年基準)	%	7 / 40	8 / 40	14 / 40	/ 40	40%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消防車庫・詰所の削減数	施設	1 / 34	3 / 34	12 / 34	/ 34	34施設
		単位あたりコスト		2466.0	3584.0	1682.1		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	消防団施設の再編・統合の必要性を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な整備を行うことで、地域防災力の強化に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	消防団員の活動環境の整備と処遇改善を行い、消防団員の定員充足率を高めることで、地域防災力の強化を図ることを目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		<p>消防団員の定員充足率が、当初目標を達成できていないことは、社会的背景が起因しているとはいえ評価できない。消防団の再編・統合を計画的に推進するため、消防団活性化計画や福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、平成29年度に消防団施設の集中整備計画(10年間)を作成した。</p> <p>消防団員の定員充足率を高めるため、消防団員の活動環境の整備と処遇改善につながる施策の調査研究を実施する。</p>	
今後の課題及び方向性		<p>地域防災力の強化を図るためには、消防団員の定員充足率を高めることは重要である。</p> <p>集中整備計画に基づき効率的な施設整備を行うとともに、コスト削減に向けて建築工法などの調査研究を実施する必要がある。</p> <p>国庫補助金などの財源確保を図る。</p>	

庁内及び外部による評価(二次評価)	所見	
	二次評価(庁内評価)【行革担当課記入】	

三次評価(外部評価)	所見	
	三次評価(外部評価)【行革担当課記入】	

来年度方針	方針区分	内容
	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし
予算への反映【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

福知山市 令和元年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性	担当課	消防本部消防課											
	作成責任者	川口 富生											
	事業名	公共施設除却事業(消防水利施設)											
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	消防施設費	会計	一般会計	事業コード	550283	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード	040201	施策名	消防・救急・救助の体制を充実させる								
	開始年度	平成27(2015)											
	終了予定年度	平成32(2020)											
	関連計画等	-											
	根拠法令等	消防組織法											
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ()											

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	消防水利の適正配置により用途廃止した防火水槽などを、施設総量の削減を図るため解体(除却)する。						
	対象者	福知山市民	対象者数	78,166	単位あたりコスト	0.1		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ()						
	委託先・実施主体等							
	事業概要	防火水槽などを解体(除却)する。						
	主な経費と 具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容				H30経費(見込値)	
		役員費	防火水槽解体に伴う防犯灯の撤去及び設置				32	
工事請負費		防火水槽2基解体(荒木、中地内)				1,486		
補償、補填及び賠償金		防火水槽解体に伴う電気設備の移転				649		
関連事業								

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額
	①当初	4,200	7,200	5,400	6,250	
	②補正予算			0		
	③流充用額	△ 1,548	0	△ 994		
	④繰越額計	0	0	0	0	
	前年度繰越		0	0	0	
	次年度繰越		0	0	0	
	財源内訳(①③④内訳)					
	一般財源	0	0	0	750	
	国支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	地方債	1,900	6,400	4,800	4,900	
	その他特財	752	800	600	600	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称	種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	従事職員数 (正職/嘱託)	0.22 / 0	0.28 / 0	0.25 / 0	0.25 / 0	
⑤概算人件費		1,760	2,240	2,000	2,000	
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)		4,412	9,440	6,406	8,250	
⑦執行額		2,652	3,163	2,167		
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		100.0%	43.9%	49.2%	0.0%	

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		消火活動時の支障解消率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100%
		消防水利の充足率	%	83 / 83	83 / 83	83 / 83	/ 83	100%
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		解体防火水槽数	施設	2 / 2	4 / 2	2 / 2	/ 2	年間2基
		単位あたりコスト		1326.0	790.8	1083.5		
			/	/	/	/	0	
	単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0			

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	火災による被害の軽減を図るため、消防水利の充足率を高めることは重要である。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	点検などにより消防水利の不良を把握し、コスト面の検討も含めた効率的・計画的な改修を行うことで、地域の消火体制に万全を期す。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	防火水槽の整備および安全対策による迅速な消火体制の確立を目的として成果目標を定めている。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価		消火活動時の支障発生件数および防火水槽周辺での事故発生件数が、当初目標を達成できていることは評価できる。消防水利の適正な維持管理を行い、消防水利の長寿命化を推進するとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する。	
今後の課題及び方向性		火災による被害の軽減を図るため、防火水槽などの整備を行い、消防水利の充足率を高めることは重要である。消防水利の適正な維持管理を行うことで、消防水利の長寿命化を図るとともに、コスト削減に向けて工法などの調査研究を実施する必要がある。公共施設等の除却に係る地方債と公共施設等総合管理基金の繰入金を財源として活用する。	

所見	
二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

方針区分		内容
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	
	予算額の反映状況(対H31)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】
予算への 反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	

来年度方針